

# 第5回「社会と情報に関するシンポジウム」1995

社会情報学部研究委員会 勝井 義雄

1991年8月、札幌学院大学社会情報学部が学部創立を記念して開催した「社会と情報に関するシンポジウム」は、その後、夏休み直前の年中行事として定着して行われるようになった。このたび第5回を迎え、1995年7月28～29日の両日、「社会と情報に関するシンポジウム」が本学C館において開催された。

本年のシンポジウムでは、初日、大阪大学人間科学部の中島義明教授が人間科学の立場から人間の情報処理特性ならびに現代社会と情報環境にメスを入れ、総合学としての情報人間科学の重要性を述べられた。ついで、九州工業大学情報工学部の大槻説乎教授が情報工学の立場から教育支援システムの歴史をとりあげ、情報社会の成熟段階について考察し、新しい規範の必要性を説かれた。さらに、東京大学社会情報研究所の濱田純一教授が急速に進展する情報化社会を情報法という立場から検討され、新しい規範・秩序について話された。これらの講演をめぐって、学内外から参加された約40名の方々と間に活発な質疑・応答があり、討論や情報交換は建学記念館（文泉会館）での懇親会まで続けられた。

翌日、三人の先生方から補足講演があり、総括討論が行われ、社会と情報にかんする最近のトピックスや「社会情報学」の将来が議論された。ついで、本学社会情報学部の大國充彦講師によりサマリートークが行われ、最後に田中一教授から将来の課題について指針が示され、二日間のシンポジウムを終了した。

終了後、今回のシンポジウムは極めて有意義なものであったという感想を多くの方々から頂いた。このような成果を収め得たのは、ご多用中にもかかわらず、遠路ご来駕たまわった上記の三先生をはじめ、学内外の方々のシンポジウムに対する特別な熱意とご支援によるものである。特に三先生は多数のOHPシート・プレプリントなどを周到に用意して講演をされ、参加者一同に深い感銘を与えた。また、シンポジウムの準備、講演・討論の録音テープ起こしなどには本学職員および学生のご援助を得た。報告にあたり以上の方々に深く謝意を表する。

## ■プログラム内容

### 第1日目

#### 挨拶

札幌学院大学社会情報学部長 狩野 陽

講演1 「情報は人間のしもべ？ 人間は情報のしもべ？」

大阪大学人間科学部教授 中島義明

講演2 「成熟した情報社会の展望と新しい規範にむけて」

九州工業大学情報工学部教授 大槻説乎

講演3 「社会情報学と多元主義」

東京大学社会情報学研究所教授 濱田純一

### 第2日目

補足報告および総括討論

中島義明

大槻説乎

濱田純一

サマリートーク 札幌学院大学社会情報学部講師

大國充彦

将来の課題 札幌学院大学社会情報学部教授

田中 一

司 会 札幌学院大学社会情報学部研究委員会

勝井義雄 新國三千代

大國充彦 是永 論